



プレスリリース

2021年10月15日

株式会社なかやま牧場の株式の買戻しについて

株式会社ひろしまイノベーション推進機構（以下「当社」）は、ひろしまイノベーション推進第1号投資事業有限責任組合及びひろしまイノベーション第2号投資事業有限責任組合（以下併せて「1・2号ファンド」）が保有する株式会社なかやま牧場（広島県福山市。代表取締役社長 増成吉彦、以下「なかやま牧場」）の株式の全部について、同社に譲渡することを決定しました。

なかやま牧場は、全国有数規模の畜産業及び食肉加工業を営むと同時に、備後地区中心にスーパーマーケットを展開している、いわゆる六次産業の先駆けともいえるべき企業で、当社が2015年8月に投資し、更なる成長を支援してきたものです。

当社は、1・2号ファンドが保有するなかやま牧場の株式の全部について、なかやま牧場に譲渡することを決定しました。併せて、なかやま牧場が発行し1・2号ファンドが引き受けた社債の全額も償還致します。

なかやま牧場は、広島県福山市に本社を置き、約9,000頭の肉牛を飼養する全国有数規模の畜産業と、自社工場にてオーダーカットに応じることも可能な食肉加工業を営むと同時に、備後地区中心にスーパーマーケット「ハート」を10店舗展開している、いわゆる六次産業の先駆けともいえるべき企業です。自社農場直送の新鮮な牛肉が「肉のなかやま」としてスーパーマーケットの差別化となり、他方で小売を持つことにより、相場に左右されがちな畜産・加工業の安定と利益確保に貢献する、優れたビジネスモデルを有します。

当社は2015年8月の投資実行後、社外取締役を派遣し、組織体制整備や事業戦略の実行を支援して参りました。まず農場ごとに設立していた関連会社を、一部事業を除きなかやま牧場に集約し、経営情報の見える化を進めたことで、畜産から販売までの全体像が見通せてガバナンス体制が整備されました。当社となかやま牧場の経営陣・幹部が協働して、部門横断的な会議やそこでの数字に基づいた議論の活発化、前例にとらわれない発想での施策見直し等を進め、社員が積極的に取り組むことで、成長戦略の策定や各部門の改革にもつながっています。具体的には、スーパーマーケットについては、5店の新規出店（倉敷市初の酒津店、水島神田店を含む）やお客様のニーズに沿った品揃えの強化を行い、アプリなどのツールも導入。畜産についてはデジタル管理ツール「ファームノート」を用いて出荷成績や育成履歴を共有し、属人的であった肥育技術をチームのノウハウに変えています。また口どけが良く冷めても美味しい新商品「亜麻仁の恵み®」を開発し外販の新規

顧客開拓等を行うとともに、ホルスタイン種と交雑種の構成比を変更することで利益を底上げしました。繁殖技術を向上させて安定的な素牛確保を進め、牛肉加工の歩留まり改善等の取り組みも行っています。

※「亜麻仁の恵み®」は㈱ニチレイフレッシュの登録商標です

なかやま牧場は、設立 50 周年を迎えた節目の 2020 年、新社長が就任し、次世代に向けた体制を構築しています。当社が新社長に伴走して約 1 年、投資から 6 年が経過し、当初想定していた支援も概ね完了して一定の成果があったことに加え、業績も大きく伸長しているため、当初の想定どおり支援を終了することで、なかやま牧場と合意致しました。

<なかやま牧場概要>

【商 号】株式会社なかやま牧場
【本社所在地】広島県福山市駅家町法成寺 1575-16
【代 表 者】代表取締役社長 増成 吉彦（ますなり よしひこ）
【設 立】1970 年 11 月 6 日
【資 本 金】5,000 万円
【従 業 員 数】921 名（2020 年 10 月末現在）
【事 業 内 容】肉牛の肥育，食肉加工，総合食品スーパーの経営
【U R L】<http://www.nakayama-farm.jp/>

<当社概要>

【商 号】株式会社ひろしまイノベーション推進機構
【本社所在地】広島県広島市中区袋町 3-17
【代 表 者】代表取締役社長 熊谷 賢一（くまがい けんいち）
【設 立】2011 年 5 月 24 日
【資 本 金】5,000 万円（資本準備金 5,000 万円）
【事 業 内 容】投資事業有限責任組合の管理運用
【U R L】<http://www.hinet.co.jp>

<本件に関するお問い合わせ先>

㈱ひろしまイノベーション推進機構 企画管理グループ 原 園
TEL 082-545-2860 FAX 082-545-2866 E-mail kikakukanri@hinet.co.jp